

株主の皆様へ

 **TOYO GOSEI**

第59期 株主通信  
(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

# Message to Our Stakeholders

## ■ ご挨拶

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の第59期株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

売上高	12,200百万円	(前年同期比 △18.7%)
営業利益	△673百万円	
経常利益	△892百万円	
当期純利益	△964百万円	

当社の最大事業である感光材事業は、昨年10月から本年3月までの半年間、高騰した原材料のコスト高、需要の激減による設備稼働率の低下で、急激な原価高になりました。

また、競争の激しい半導体、液晶パネル業界からの値引き要望と為替の円高が加わり、収支は大幅な赤字となりました。この結果、会社は赤字決算になり、株主の皆様のご期待に沿えず大変遺憾に思っております。当社は感光材事業以外に、香料材料、グリーンケミカル、ロジスティックなどの事業を営んでおります。これらの事業も年末年始に売上高の減少に見舞われましたが、春の訪れと共に徐々に回復しております。

なお、当期末の余剰金の配当は、通期の業績が大幅に悪化し、財務体質の強化を図る必要があることから、期末配

当につきましては、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただきますこといたしました。この結果、中間配当金(1株あたり6円)を含む当期の年間配当金は、1株あたり6円となります。

## ■ 次期の見通し

売上高	11,600百万円
営業利益	△1,600百万円
経常利益	△1,800百万円
当期純利益	△1,900百万円

生産に感光材を使う液晶パネルは、3月頃より需要が回復してきましたが、当社はウォン安を背景とする韓国競合メーカーに市場を奪われ、未だに需要の低迷に苦しんでおります。社員一同力を合わせコストの低減に取り組み、高品質、低コストを実現し、需要の回復に努めます。

香料材料事業の従来品は景気の影響で前期に比べて需要が減少しましたが、新規製品の市場投入で売上の増加を目指します。

グリーンケミカル事業は、景気の回復で需要が緩やかに回復に向っております。

ロジスティック事業は、石油化学メーカーの在庫増で、ほぼ全タンク満杯の状況です。この状況は当面継続するものと思われれます。

以上、感光材事業以外の事業は、この不況下でも健闘し

売上高



営業利益



経常利益



当期純利益



ておりますが、当社は感光材事業のウェイトが大きく、今期中の収支の改善は困難と思われます。

配当予想につきましては、事業環境の見通しが依然として厳しく、現時点での業績予想では損失の計上が避けられない見通しであることから、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただきます。

今後、全社一丸となって収益改善を推進し、業績の早期回復並びに早期復配に向け傾注する所存でございます。

### ■ 経営改善計画について

当社は、厳しい経営環境下においても着実に収益を上げられる競争力のある事業体質を構築するため、コスト構造の抜本的な見直しを進めてまいります。また、安全操業に努め、安定した事業運営を行ってまいります。

#### (1) 製造原価の低減

- ・ コスト構造の抜本的な見直しに向け、製造工程の改善および原材料コストの引き下げを進めております。なお、原材料コスト引き下げの一環として、調達担当部署を強化し、原材料調達コストの削減を進めております。
- ・ 最適な在庫管理水準の維持に努め、お客様への安定供給責任を果たすとともに、在庫管理コストの最小化を進めてまいります。

#### (2) 営業・研究開発体制の強化

- ・ 営業部門と研究部門の連携を強化し、マーケティング機

能の充実化を図るとともに、市場動向を的確に把握し、お客様のニーズへ柔軟に対応できる体制を構築いたします。

#### (3) 組織力の強化

- ・ 業務の標準化を進め、人員配置を適正化することにより、柔軟な組織運営を行ってまいります。
- ・ 人的資源の育成と活性化のための仕組みを構築し、魅力的な会社組織・風土作りを進めてまいります。

第60期は上場以来の贅肉を削ぎ落とし、高品質を維持し、価格競争力のある筋肉質体質に生まれ変わる所存でございます。何卒株主の皆様には引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月



代表取締役社長 木村正輝

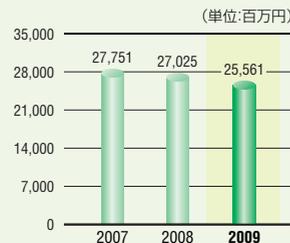
1株当たり当期純利益



1株当たり配当金



総資産



純資産



# Segmental Information

## ■ 感光性材料事業

Photosensitive  
Materials Business

### ● 感光材事業 ●

#### 液晶テレビや半導体の製造を支えています



感光材は、液晶テレビや半導体の製造工程で使用される回路パターンを形成する材料であるフォトレジストの原材料になります（フォトレジストは、感光材と溶剤等から作られます）。当社の感光材は

高性能かつ高品質の製品として高い評価をいただいております。世界トップクラスのメーカーとして高いシェアを有しています。また、大学と共同で次世代型の感光材の研究開発にも積極的に取り組んでいます。

所在地：千葉工場（千葉県香取郡東庄町）

### ● エネルギー事業 ●

#### 燃費の向上やCO<sub>2</sub>削減に寄与する未来の液体



近年、各自動車メーカーでは、ハイブリッド自動車や燃料電池車にエネルギーの有効利用を目的とした電気二重層キャパシタを搭載することが検討されています。当社では、この電気二重層キャパシタ用

の電解液及びイオン液体の製造販売を行っています。イオン液体の使用は多くの分野で研究されており、環境負荷の少ないグリーンケミストリー用反応溶媒や安全で高性能な次世代電解質としての活用が望まれています。また、フォトレジスト用現像液TMAHの製造販売も行っています。

所在地：千葉工場（千葉県香取郡東庄町）

## ■ 化成品事業

Chemicals Business

### ● 香料材料事業 ●

#### 世界に広がる香りをつくる



食品（フレーバー）や香粧品（フレグランス）製品の単品香料を作っているのが、香料材料事業部です。食品や香粧品の香りは、何十種類もの単品香料を香料会社で調合し、1つの香りが作られます。当社ではその香りの素となる単品香料を世界各国の大手香料会社に販売しています。当社の単品香料は、香料として一番重要な“匂い”の安定

を特徴としており、国内では食品香料向けが多く、海外では香粧品香料向けに多く販売しています。また近年では、BRICsが牽引する世界経済の成長により販売が拡大しています。

所在地：市川工場（千葉県市川市上妙典）

### ● グリーンケミカル事業 ●

#### 地球温暖化、大気・水質汚染問題解決に貢献



塗料、電子・電気部品、自動車、製薬、化学等広範な分野では多様な有機溶剤が使われています。こうした廃溶剤の多くは再利用されことなく大気に放出されるか、燃焼処理されています。当社はユーザーで使用された廃溶剤を引き取り、再利用できるように精製を行い、新品同様に蘇らせます。廃液の再利用により、CO<sub>2</sub>の削減や大気・水質汚染などの軽減に貢献できます。

当社では特に高度な蒸留技術が求められる半導体などの電子部品材料用溶剤のリサイクルで高い実績を誇っています。

所在地：市川工場（千葉県市川市上妙典）

## 各事業部門のご紹介

### ■ ロジスティック事業

Logistics Business

#### 日本一のケミカルローリー出荷基地



高浜油槽所において、大手石油化学メーカーや商社の液体化学品を船で受け入れ、一時保管し、タンクローリーで関東各地のユーザー様へ配送を行っています。受け入れ船

舶は月間200隻、ローリーでは3,000台の出荷に対応できます。また、化学メーカーとして長年培ってきた化学物の取り扱い、管理、分析の技術と最新の設備により、安全かつ環境にも配慮した万全の体制を備えています。

所在地：高浜油槽所（千葉県市川市高浜町）

### ■ 新規事業開発

#### ナノテク分野、バイオ分野の研究開発



ナノテク分野では、UVナノインプリント専用の樹脂を世界で初めて発売しました。ナノインプリントは、他の微細加工技術では困難な大面積加工が可能のため、次世代型

加工技術として注目されています。

バイオ分野では、新薬開発における前臨床試験を支援する製品「Cell-able（セルエイブル）」のプレートを製造しています。製薬メーカーは、Cell-able使用による研究開発費の削減、開発期間の短縮に期待を寄せています。

所在地：感光材研究所（千葉県印旛郡印旛村）

### ■ 新規事業開発部Q&A



取締役執行役員  
新規事業開発部長 菊地 英夫

#### ナノテク分野

**Q** ナノテク分野の研究内容を教えてください。

**A** ナノインプリントという次世代の微細加工技術に使用される感光性樹脂材料の研究開発を行っています。この材料には、すでに世の中に存在するものとは異なる特性が求められています。

**Q** ナノインプリントの市場について教えてください。

**A** 半導体、ハードディスク、LED、ディスプレイ等の電子機器用途を中心にこの技術の適用が検討されています。今はまだ市場が立ち上がっていませんが、今後大きなマーケットになると期待されています。

**Q** 今後の見通しについて教えてください。

**A** ナノインプリントを用いるナノサイズの加工の普及には、未だ困難な課題も残っていますが、将来の製造業に不可欠な基盤技術として大きな期待が寄せられています。今後、使用用途がますます拡大していく見込みです。

#### バイオ分野

**Q** バイオ分野の研究内容を教えてください。

**A** バイオグループの研究フォーカスは、これまで当社で蓄積してきた感光材料をコア技術としたバイオ向けの材料（バイオマテリアル）開発とその応用開発です。応用開発の一つの成果として、「Cell-able」が大学発ベンチャーであるトランスパレント社から昨年上市されました。

**Q** 「Cell-able」のユーザーからの反響を教えてください。

**A** 「Cell-able」は、当社の感光材技術を利用し、微細なパターンを施したプレート上で、これまで長期培養することが難しかった肝臓の細胞を、肝機能を維持したまま1ヶ月以上生存させることが可能となりました。そのため新薬開発時の安全性の予測や、研究効率を向上させる技術として国内外の製薬メーカー等から多数のお問い合わせをいただいております。また、実際にご使用頂く事例も増えています。

**Q** 今後の見通しについて教えてください。

**A** これまでバイオ・ライフサイエンス分野に向けた他には無い独自の材料開発と応用を進めてまいりました。今後もオリジナリティーの高い技術を開発すると共に、常にユーザーの課題を解決する提案を行える研究を進め、当社にとってだけでなく、世界にとっても初の市場を獲得・創出してまいります。

# Financial Statements

## ■ 貸借対照表（要旨）

（千円未満切捨表示）

科目	期別	当事業年度	前事業年度	科目	期別	当事業年度	前事業年度
		平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在			平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
資産の部				負債の部			
流動資産	①	8,579,869	9,953,842	流動負債		10,360,829	10,837,189
固定資産		16,981,850	17,071,707	固定負債		7,969,255	7,828,771
有形固定資産		15,615,143	15,731,172	負債合計		18,330,085	18,665,961
無形固定資産	②	688,466	480,994	純資産の部			
投資その他の資産	③	678,240	859,540	資本金		1,618,888	1,618,888
資産合計		25,561,719	27,025,550	資本剰余金		1,541,589	1,541,589
				利益剰余金		4,081,547	5,155,582
				自己株式	④	△ 12,578	△ 854
				その他有価証券評価差額金		2,187	44,382
				純資産合計		7,231,634	8,359,589
				負債純資産合計		25,561,719	27,025,550

## POINT

- ① **流動資産** 売上高の減少に伴う売掛金の減少により、前年同期と比較して流動資産は減少いたしました。
- ② **無形固定資産** 機能増強のための新システム導入費用を計上したため、前年同期と比較して無形固定資産が増加いたしました。
- ③ **投資その他の資産** 事業環境の悪化に伴う収益面の低下により、繰延税金資産の取り崩しを行い、前年同期と比較して減少いたしました。
- ④ **自己株式** 平成20年10月23日付の取締役会において自己株式を取得することを決議し、18,700株を取得しております。

## ■ 損益計算書 (要旨)

(千円未満切捨表示)

科目	期別	当事業年度	前事業年度
		自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日
売上高	①	12,200,539	15,002,356
売上原価		10,764,146	12,463,100
売上総利益		1,436,392	2,539,256
販売費及び一般管理費		2,109,779	2,065,216
営業利益又は営業損失(△)		△ 673,386	474,040
営業外収益		126,720	107,041
営業外費用		346,125	281,695
経常利益又は経常損失(△)		△ 892,791	299,386
特別利益	②	704,909	804,278
特別損失	③	415,090	549,648
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)		△ 602,972	554,016
法人税、住民税及び事業税		15,400	36,000
法人税等調整額	④	345,770	358,922
当期純利益又は当期純損失(△)		△ 964,142	159,094

## ■ キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(千円未満切捨表示)

科目	期別	当事業年度	前事業年度
		自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,532,822	3,001,937
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,520,379	△ 2,371,449
財務活動によるキャッシュ・フロー		399,036	△ 605,291
現金及び現金同等物の期末残高		405,048	993,898

## POINT

- ① **売上高** 主力の液晶及び半導体用途向け感光性材料の受注減少などにより、前年同期と比較して減少いたしました。
- ② **特別利益** 平成19年11月13日に千葉工場で発生した火災事故及び平成20年11月8日に同工場電気室で発生した火災事故に関する保険金収入を計上しております。
- ③ **特別損失** 平成20年11月8日に千葉工場で発生した火災事故による損害額を計上しております。
- ④ **法人税等調整額** 繰延税金資産を取り崩し税金費用に計上しております。

## ■ 株主資本等変動計算書 (要旨) (当事業年度 自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(千円未満切捨表示)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成20年3月31日残高	1,618,888	1,541,589	5,155,582	△ 854	8,315,206	44,382	8,359,589
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 109,892		△ 109,892		△ 109,892
自己株式の取得				△ 11,724	△ 11,724		△ 11,724
当期純利益			△ 964,142		△ 964,142		△ 964,142
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額						△ 42,194	△ 42,194
事業年度中の変動額合計			△ 1,074,034	△ 11,724	△ 1,085,759	△ 42,194	△ 1,127,954
平成21年3月31日残高	1,618,888	1,541,589	4,081,547	△ 12,578	7,229,446	2,187	7,231,634

# 事故報告

平成19年11月13日に当社千葉工場第2感光材工場1階包装室において、協力会社社員2名の方がお亡くなりになる重大な火災事故が発生し、翌年の平成20年11月8日には同工場内3階北側電気室にて再び火災が発生いたしました。株主の皆様には度重なるご心配とご迷惑をお掛けいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

## ■平成19年11月13日発生の千葉工場第2感光材工場1階包装室の事故報告（平成20年7月10日発表）

事故発生後、消防、警察と共に原因調査を継続し、延焼プロセスの確認を行ってまいりました。また、事故原因の透明性を確保するため、当社では平成20年1月に事故調査委員会を設置するとともに、学術団体である特定非営利活動法人安全工学会に事故原因、再発防止に関する調査・検討を委託し、原因の究明に向け徹底した実証・実験を行ってまいりました。平成20年6月末に安全工学会から「感光材事故の原因調査及び安全管理に関する調査報告書」が提出されましたのでご報告申し上げます。

報告書は、事故の概要、事故原因、再発防止策の3項目で構成されており、事故原因について最終的には特定出来なかったものの「包装室を火元に通路、乾燥室に火災が拡大した可能性が高い」と報告しています。

再発防止策としては、包装作業の見直し、避難経路の拡充など設備面の安全強化、緊急事態の対応訓練の徹底など安全管理の強化などを実施済みです。さらに、安全工学会の提言を受けて第2感光材工場復旧工事では、乾燥室、包装室はそれぞれ間仕切り壁による防煙区画とするなど空間の機能ごとに区画化の強化を図り、確実な2方向避難ルートの確保など、避難しやすい構造の徹底、防災・排煙設備の充実、非常時に対する消火設備の対応やマニュアルの見直しなどの安全対策を速やかに実施いたしました。また、安全工学会からの提言に加え、全社的な

OSHMS（労働安全マネジメントシステム）の定着化など、危険予知・設備・業務・組織を含めた総合的な安全対策を講じてまいります。

## ■平成20年11月8日発生の千葉工場第2感光材工場3階北側電気室の事故報告（平成21年6月発表予定）

火災事故直後から火災原因について、当社内において事故調査委員会を設置し、調査を進めてまいりました。

火災原因については、現場検証の結果、第2感光材工場3階北側電気室に設置している動力制御盤からの地絡漏電による出火と特定されました。また、第三者である東京理科大学理工学部電気電子情報工学科首藤教授及び訪談東京理科大学システム工学部須川教授（東京理科大学総合研究所火災科学部門（併任研究所員））からの意見書でも出火元の特定は一致しております。さらに、電気的な要因によって漏洩があり出火に至ったことは明白であると考えており、当該箇所は設備メンテナンス以外では、人が入り得る場所ではなく、事故当日の人為的要因による発災可能性は低いとの見解でも一致いたしました。

再発防止策としては、地絡漏電遮断器の設置、工事バリテーションの強化、消防計画書・予防規定の内容充実、従業員への安全対策の教育を繰り返し実施する考えです。

当社では、2度の火災事故を真摯に受け止め、安全操業を最優先の経営課題と位置づけるとともに、再発防止策を徹底させ、これまで以上に安全文化の醸成と周知徹底を図ってまいります。また、新しい安全確保の仕組みを構築し、安全を第一に考える企業文化の確立と定着化を図ってまいります。

この一連の取り組みを通じて、株主の皆様をはじめ、近隣住民の方々、お取引先様など多大なるご迷惑、ご心配をお掛けした皆様の信頼回復に努める所存であります。

# Topics

## nano tech2009 (2009年2月)

2009年2月18日～20日まで、東京ビッグサイトで開催されたnano tech2009に新規事業開発部ナノテックグループが出展いたしました。出展の目的は、①UVナノインプリントの技術性をアピール、②可能性のある共同製品開発先の探索、③新実験キットの展示の3つを目的とし、当日は、研究員による説明や事業内容のプレゼンテーション、新実験装置の実演を行いました。



## いんば理科実験教室 (2009年3月)

2009年3月25日感光材研究所（千葉県印旛郡）にて、千葉県印旛村教育委員会に協力し、小学校高学年19名を対象にした「いんば理科実験教室」を開催いたしました。「光でかたちをつくる」をテーマに、50倍の顕微鏡でブラウン管と液晶ディスプレイで異なる光点の形の観察や、UVナノインプリント樹脂を用いて、コインの図柄を転写する実験などを行いました。子ども達からは、「学校の実験と全然違う」「楽しくてあつという間だった」という嬉しい感想を多数いただきました。



## 環境レポートの発送中止 (<http://www.toyogosei.co.jp/env/>)

年1回株主の皆様へお届けし、好評をいただいている環境レポートでございますが、昨今の事業環境悪化に伴う経費節減のため、誠に勝手ながら2009年度版の環境レポートより発送を中止とさせていただきます。なお、冊子での発送に代わり、当社HPより最新版の環境活動の報告をご確認いただけます。



## 株主優待の一部変更 (2009年4月27日発表)

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝すべく、平成17年3月期より株主優待制度を導入しておりますが、昨今の当社を取り巻く事業環境は厳しさを増しており、業績状況等を含め総合的に検討を重ねました結果、誠に遺憾ではございますが当該制度を一部変更させていただくことといたしました。

株主の皆様におかれましては、何卒事情ご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

### 変更の内容

所有株式数	現行	変更後
100株以上	・ 権利確定日 3月31日 9月30日  ・ 贈呈品 2,000円相当の千葉県特産品を年2回	・ 権利確定日 3月31日  ・ 贈呈品 2,000円相当の千葉県特産品を年1回

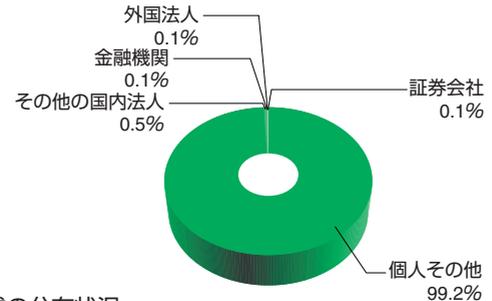
# Stock Information

株式の状況 (平成21年3月31日現在)

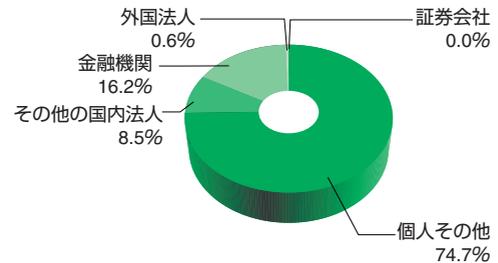
発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式総数	8,143,390株
株主数	13,172名
大株主	

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
木村正輝	1,637,270	20.1
木村有仁	394,800	4.8
木村愛理	383,000	4.7
千葉銀行	298,100	3.7
東京都民銀行	298,000	3.7
木村源四郎	210,100	2.6
片岡文子	207,500	2.5
早稲田大学	200,000	2.5
昭和エンジニアリング	170,000	2.1
東洋合成工業社員持株会	149,420	1.8

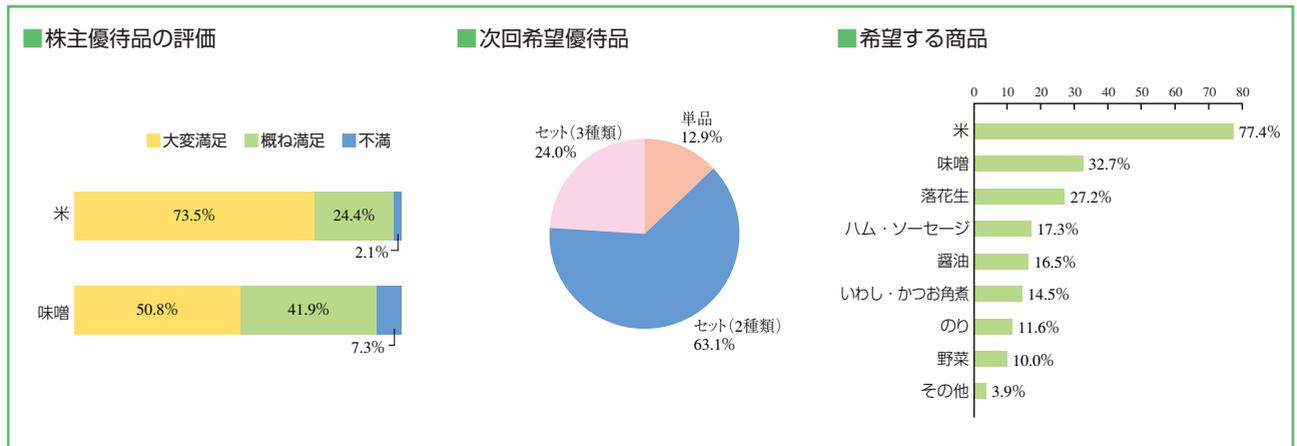
## 株主の分布状況



## 株式の分布状況



第59期中間 株主アンケート結果 (アンケート送付数 12,099人・回答数 4,538人・回収率 37.5%)



# Corporate Profile

## 会社の概要 (平成21年3月31日現在)

- 商号 東洋合成工業株式会社
- 設立 昭和29年9月27日
- 資本金 1,618,888,703円
- 従業員数 382名
- 事業内容
  1. 有機工業薬品・有機溶剤等の製造並びに販売
  2. 画像形成用の感光性材料等の製造並びに販売
  3. 電子表示機器の材料等の開発、製造並びに販売
  4. 電池材料並びに電気二重層材料等の研究開発、製造並びに販売
  5. 酵素の固定並びに細胞の培養をするための感光性樹脂の研究開発、製造並びに販売
  6. 倉庫業（液体化学品の保管管理）
  7. 貨物運送取扱業
- 事業所 東京営業所 東京都中央区八丁堀4丁目13番1号  
高浜油槽所 千葉県市川市高浜町7番地  
感光材研究所 千葉県印旛郡印旛村若萩4丁目2番1号  
市川工場 千葉県市川市上妙典1603番地  
千葉工場 千葉県香取郡東庄町宮野台1番51  
ヨーロッパ事務所  
Teleport Towers Kingsfordweg 151  
1043 GR Amsterdam The Netherlands
- 関係会社 TG Finetech Inc.

- 役員
- 代表取締役社長 木村 正 輝
- 専務取締役 春田 雅 彦
- 常務取締役 木村 有 仁
- 取締役執行役員 木村 英 夫
- 取締役 渡川 地 一
- 取締役 川村 宏 繁
- 取締役 三代川 繁 夫人
- 取締役 越後谷 桂之介
- 執行役員 大田 洋 介
- 執行役員 小島 邦 彦
- 執行役員 萩原 勇 一
- 執行役員 藤田 健太郎
- 監査役 伊藤 衛 一
- 監査役 萩原 正 一
- 監査役 宇田川 進 勉
- 監査役 鳥井 勉

# Information

## お知らせ

- 株主優待  
毎年3月31日現在において、株主名簿に記載のある100株以上の株式を所有されている株主様に下記のご優待をご用意しております。



株数	100株以上
優待品	2,000円相当の千葉県特産品

平成21年3月期末株主様へは、千葉県の誇るブランド米である千葉県香取郡多古町産コシヒカリ4kgとお味噌のセットを、6月上旬～下旬にかけて贈呈いたしました。

- ホームページ  
当社に関する最新の情報がご覧になれます。  
<http://www.toyogosei.co.jp/>

- アンケートにご協力ください  
ご協力いただいた方のうち抽選で100名様にQUOカード1,000円分を8月中旬頃に送付させていただきます。  
※平成21年7月31日(金)当社着にて締め切らせていただきます。  
※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。  
※回答欄の下部に必ず株主番号及びお名前・会社名をご記入願います。



※アンケートご記入後、同封のプライバシー保護シールを宛名面の下段に貼って投函してください。  
※個人情報保護に配慮し、ご記入いただいた個人情報は当社のIR活動以外に活用することはありません。

- 表紙写真  
北海道富良野のラベンダーと花々の写真です。  
ラベンダーの花言葉には「期待」という意味が込められています。  
©Kazuko Kimizuka

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
剰余金の配当の基準日	3月31日 中間配当を実施するときは9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日 ※その他必要がある場合は、予め公告いたします。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.toyogosei.co.jp/ir/koukoku.html">http://www.toyogosei.co.jp/ir/koukoku.html</a> ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

# 東洋合成工業株式会社

〒272-0012 千葉県市川市上妙典1603番地  
TEL047-327-8080 FAX047-327-8055  
E-mail : [ir@toyogosei.co.jp](mailto:ir@toyogosei.co.jp)

